

廣島文理科
大學教授

文學博士久保良英著

菊判洋綴紙數三百頁
定價金二圓八十錢

送料廿一錢

新刊

兒童の精神構造と指導

本書は心理學上より兒童の精神構造を科學的に解剖し、體係を立てて以て兒童教養の根本義を確立せるものである。兒童の教養は次期の國家の消長を決するものであるが、特に現今我國は非常の時局に立ち何事にも國民總和の力を以て當るべきの秋である。著者はこの大に感ずる所あつて、世の教育家父兄の爲に特に本書を著したのだ。先生は我邦心理學界の泰斗で、本書は其深奥なる學問と豊富なる經驗との完全なる融合である。左に其大綱を擧ぐれば……一幼兒の精神構造 二玩具の選び方 三言語と文字の交友についての注意 五問題の子供の導き方 六家庭に於ける知育 七美的情操陶冶 八道德教育 九宗教教育……一般教育家は勿論一般識者の必讀を望む。

東京高等師範學校教授
文學博士
小野島右左雄著

心理學要説

菊判紙數四百頁
定價金二圓十五錢
送料十二錢

教育の基礎となる
新しい心理學説

文檢要書

心理學の問題は管ての機械説より生氣説、準機械説等幾變遷を経てゐるが、體制に於て今や其全面に涉り百八十分野の大回轉を示してゐる。之は人間科學の諸領域に於て著大なる進歩と新しい分野の開拓とを意味するものである。斯様な時期に當つて著者は本書に於て單なる紹介や學説の羅列をさけ、専ら見方を教へ考へる論を説き見透しを與へようとしてゐる。しかして全卷を通じて一貫するに其獨特の理を教育家特に文檢受驗者に適したものであることを信する尙著者は「われ」の精神生活を現代の心理學の成果に基づいて叙説しようとする試みだ」と本書の巻頭に述べ

振替電話
東京三三三
八三三
四二五
七二番

店書館文中

發行所
東京市牛込區
牛込四七

生徒募集

本科生四十名 研究科生若干名

願書受付三月二十日迄規則書は參錢切手
封入の上申込まれよ。

創立以來廿三年。

大正五年東京市麴町區に創立。

昭和二年武藏野の中なる現在地に新築、

附近に森あり、野あり、川ありて四時自

然の恩恵を受け、本校の特色とする自然

觀察、博物採集、圖畫寫生、自然物應用

の手工等材料豊富なり。

玉成保姆養成所

所長 ソフアヤ・アラペラ・アルウ井ン

東京市杉並區西高井戸一丁目一三三

省線 西荻窪下車直南約五丁

保姆生徒募集

一、募集人員 五十名

一、出願期限 二月一日ヨリ受付

規則及入學案内ハ三錢切手ヲ同封シテ請求セラル、カ又ハ山手線

目白驛前目白幼稚園ニ就キ承合セラレタシ

淀橋區下落合三丁目一、三八八

東京目白保姆學校

電話落合長崎二五五九番

一、定員 四十名 一、保母資格を得

一、締切 三月二十日 一、寮舎の設備あり

佛教 保母養成所

保育
協會

東京市中野區宮前四八 電話中野五八七〇番

一、全國佛教幼稚園聯合の保母養成機關なり

一、帝都名刹寶仙寺境内に同寺經營の中野高等女學校並感應幼稚園
と共に併設せられ環境の清澄と模範的優秀設備は本所の誇りで
ある

一、交通は省線新宿驛より五分 寶仙寺前下車

詳細は學則請求を乞ふ

生徒募集

募集人員 百 名

願書締切 三月末日

◇無試験檢定ニヨリ保姆免許狀ヲ受クル特典アリ

◇寄宿舍ノ設備アリ

東京市杉並區高圓寺三ノ二九八

東京保姆專修學校

生徒募集

募集人員 七拾名

出願期限 自二月一日 至三月末日

- 入學手續ヲ簡易ニ改メタリ
 - 入學試驗ヲ要セズ 提出書類ニヨリ詮衡ノ上直チニ許可書ヲ送付ス
 - 無試驗檢定ニヨリ保姆免許狀ヲ受クル特典アリ
 - 寄宿舎ノ設備アリ
- 規則書入學案内ハ三錢切手封入申込マルベシ

東京市品川區大井原町五二〇八(省線大井町驛ヨリ城南バスニテ原停留場下車二分)

東京昭和保姆養成所

所長 土川五郎

顧問兼講師 東京女子高等師範教授 倉橋惣三

平安女學院保育科

修業年限二箇年・保姆及母として

の學習、實習、研究

(入學案内要三錢切手)

保姆・小學教員無試驗檢定資格有

第一學年 參拾名募集

京都市上京區下立賣通烏丸西入

平安女學院

なほ英文科・家政科・家庭科及豫科・平安幼稚園・平安高等女學校あり

生徒募集

募集人員 約五十名

出願期日 願書締切、四月五日限

○佛教主義ニ依ル保姆養成機關

○修業年限 一ケ年

○無試験檢定ニ依ル保姆免許狀ヲ受クル特典アリ

○寄宿舎ノ設備アリ

規則書ニ錢切手封入申込ノコト

京都市東山七條

本派本願寺保姆養成所

尙 京都女子高等専門學校、京都高等女學校、京都裁縫女學校アリ

新刊

倉橋惣三作詞
小松耕輔作曲

戸倉ハル振付

日本の旗 日の丸の旗

色刷表紙四六倍判音譜及び振付
説明
定價 送料共 一冊 金參拾錢
前金(振替或は參錢郵券)を添へ
冊數及び送先き明記申込次第直
に送本す

此の時局、幼兒兒童に何を唱はせませうか。どんな遊戯をさせませうか。本會は、今日此の新しい唱歌と遊戯とを全國の幼兒兒童の前に贈り得ることを最も欣快とするのであります。願はくは、皆さまのお力添へを俟つて、幼稚園に、學校に、家庭に、街頭に、津々浦々に、此の唱歌遊戯の流布を見るに至り得んことを。之れが本會の遠慮のない望みであります。

尙、此の刊行によつて得た金額は、國防費に獻金致したく、既に金百圓を獻金致しました。どうぞ此の趣旨にも御共鳴下さつて、尙ほ一冊でも多くお購求下さい。又廣くお勧め願ひます。一冊の御購買は即ち同時に國防獻金となるのであります。若し各幼稚園が此の意味に基いて、取りまごめて御注文下さるようのごまごめでして頂ければ、此の上ない幸であります。そのために表紙も美しい色刷りの家庭向きにして置きました。右本會の二つの希望を御協賛願ひます。

發行所

日本幼稚園協會

東京市小石川區大塚町三十五

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

振替口座東京一七二六六番